

地域社会との緊密な連携を築く

地域とともに児童の安全を守る P T A 活動

愛知郡東郷町立音貝小学校 P T A

1 はじめに

東郷町は名古屋市の東に位置し、尾張の「東」にある「郷」であり、「愛知県」の名前の由来となった「愛知郡」最後の町村である。近年は町役場周辺に大型商業施設が建設され、再開発も進んでいる。

本校は東郷町の西端に位置し、名古屋市と接しており、校区内に交通量の多い県道が通っている。開校は、昭和 51 年 4 月で、来年度は創立 50 周年を迎える。学校規模は、児童数 388 名、学級数は 18 学級（通常学級 13、特別支援学級 5）、P T A 会員数は 291 人である。学区は白土地区、西白土地区の二つの自治会から成る。「誇りを胸に 笑顔を繋ぐ 心の輪 ― 輝く未来であるために」を P T A の活動方針に掲げ、日々活動している。



【音貝小学校校舎】

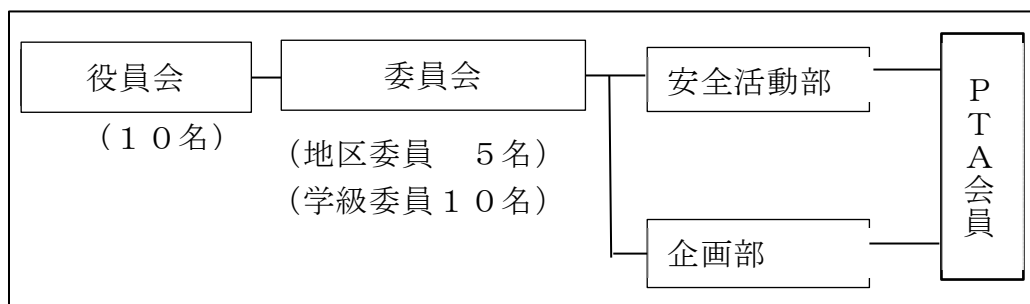
2 研究への取組

(1) P T A 組織

本校の P T A 役員は、役員 10 名、地区委員 5 名、学級委員 10 名の計 25 名で構成されている。

地区委員・学級委員は、安全活動部・企画部のいずれかに所属し、それぞれ次のような活動を計画し、実施している。

- ・安全活動部…長期休業中の地域の見回りと安全啓発運動の実施
- ・企画部 …教養講座や学校外活動の計画・実施



【音貝小学校 P T A 組織図】

(2) 研究のねらい

近年、P T A への加入率の低下が全国的に問題となっている。本校は幸い本年度も加入率 100% を達成している。しかし、役員の負担は依然

として問題となっており、なり手が不足し、七つある地区のうち一つの地区では地区委員がいない状態で新年度がスタートする事態となった。

こうした状況の中、本校では、P T Aの組織や活動を見直してきた。組織については、これまでの広報部を廃止し、各学年で4名だった学級委員を各学年で1名以上とするなど、役員や委員の数を減らして組織をスリム化した。活動についても、これまで取り組んできた諸活動を精査し、必要な活動に重点を置くことにしている。また、それらに伴い、会費も年1,800円から1,200円に減額することができた。

これまで、数の多い役員・委員によりほぼすべての活動が行われてきたが、今後は、数少ない役員・委員が、P T A全体の調整役となり、全保護者を動かし、ボランティアを募って活動を進めたりする形も取り入れながら活動している。

3 実践活動の概要

(1) P T A旗当番

本校は、交通量の多い県道沿いに位置している。すぐ近くには別の県道や大きな交差点があり、大型トラックが多く走行したり、住宅街の中を通る抜け道があったりするなど、登下校が大変危険な状態となっている。登下校に対し、不安を感じている保護者も多い。

本校の学区には2名の交通指導員がおり、登下校時には最も危険な2か所に毎日立哨していただいている。また、本学区を構成する二つの自治会が主催しているスクールガードがあり、各自治会の老人クラブを中心として、毎日の児童の登下校時に立哨していただいている。このように、地域の方の協力により、登下校時の児童の安全が守られている。ただ、交通指導員は2名しかおらず、スクールガードも高齢者を中心としており、なり手が不足し、いつも立哨していただけているわけではない。そこで、本校ではP T Aが中心となり、ほとんどの保護者が参加する旗当番制を実施している。校区にある七つの地域それぞれのP T A地区委員を中心として、各地区で登下校中の危険な場所を重点ポイントとし、毎学期当番表を作成し、各家庭に配付や回覧をして周知している。保護者は自分が旗当番の日は登校時刻にポイントに立哨し、登校を見守っている。活動が終われば、次の旗当番の家庭に旗を届ける。多くの保護者は、1～2か月に一度の割合で当番が回ってくる。

特別支援学級在籍の児童や特別な事情のある家庭は当番から除外するなどの工夫をし、保護者の多くは協力的に取り組んでいる。この活動により、児童の安全な登校が実現できている。しかし、朝の忙しい時間



【学校前の県道で立哨する旗当番の保護者(手前)とスクールガード】

（２）通学路・危険箇所マップの作成

換新注意！通行せし

**カーブで通過しやすい
タカに大型トラックの出入りが多い
朝の通勤車通過後に比べてかなり注意**

**交通ルールを無視した
車多く見ける**

**通行量多い、遅延多い
トラックがバックするときに
気が付かないと多発**

文通車多く、下の交差点付近注意！

**小学校で下校時に多く
気をつけよう！**

車の出入りが多い！

**白土第一公園からの
飛び出し注意！**

**大型トラックの
出入りが多い**

スピード違反者も多く、換新注意

**知立区内より進入
道路が多く、スピード車多数**

スピード超過者も多く危険

**神道、交差
カーブ、遅延発生！**

**道が狭く、危険
歩道がないため危険**

**白土第一公園からの
飛び出し注意！ 交通も多い**

海木

雨水観音堂！

加茂河、通行量 スピード車多発危険

加茂河、交通量多し、スピード車多発

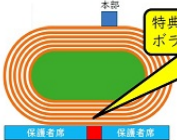
菅員小学校

【通学路・危険箇所マップの一部】

(3) 運動会における不審者対策

募集要項

仕事内容：ひまわり門及び東門（来賓者入り口）での入場確認
 活動時間：保護者入場開始前（7：30頃）～最終演目終了まで
 参加資格：児童の保護者
 ※演目が始まり次第、交代制となります



本館

保護者席 保護者席

校舎

特典：グラウンド中央付近にボランティア席を用意します



体育館

入場方法

＜保護者用入場＞



＜スマホのチケット画面＞



＜待参者＞



+

＜同伴者＞



**同伴者は入場可能
（人数制限無し）**

運動会プログラム

【ボランティアについての案内の一部】

– 83 –

ことにした。電子チケットは家族間で転送してもよいこととしたほか、一緒に入場する際は、一人が提示すればよいこととした。提示するものがない場合は、受付で電話番号を記入してもらい、その場で学校の携帯電話から記入された番号に電話をかけ、番号が本物かを確認したうえで入場を許可した。「家族が先に入場している」などの場合も、その家族を呼び出してもらい、家族であることを確認してから入場を許可した。

保護者ボランティアは、自分の子どもの出番の時の当番は避け、確実に自分の子どもの姿を見られるようにローテーションを組んだ。また、保護者席の中央にボランティア席を設け、優先的に座れるようにすることで、ボランティアに参加するメリットを設けた。

運用については、まず、PTAの役員により、ボランティア募集の案内を作成し、全PTA会員に学校からメール配信した。ボランティアに応募したい保護者は、案内にあるQRコードから応募するようにし、役員が集約した。役員がローテーション表を作成し、応募した保護者にメールで配信した。

本年度初めての試みであったが、12名の応募があり、受付には常時3～4名の保護者ボランティアが対応することができた。保護者はおおむね協力的で、事前に伝えた通り、保護者用名札、プログラム、電子チケットのいずれかを準備して受付で提示していた。もう一つの門から入ろうとする保護者が見られるなど、課題も残ったが、来年度は改善してさらによい形で継続していきたい。

4 おわりに

PTA役員の成り手不足は全国的な問題であり、多くのPTAで業務を縮小し、役員の負担軽減を図っている。本校でも、組織をスリム化し、業務も精選している。一方で、運動会における不審者対策など、新たな業務を始めている。精選ばかりではなく、本当に必要なことを見極め、不要な業務は廃止し、新たに必要となってくることには取り組むという姿勢が重要であることを再認識した。今後も、最終的に児童や学校のためになることをしっかり見極めていく必要がある。



【電子チケット】



【受付で電子チケットを提示する保護者】